

大分学習療法だより 第10号



2015年4月24日(金)、ホルトホール大分の会議室で、第10回大分学習療法研究会が開催されました。その様子をお届けいたします。

<プログラム>

◆大分学習療法研究会 首藤会長 挨拶

◆第1部(13:30~14:30)

◎平成27年度定期総会

平成26年度の活動が終わり、研究会も2期目に突入しました。そこで、第1部では研究会の会員を対象にした総会が開催されました。

◎「僕がジョンと呼ばれるまで」自主上映を成功させるために

総会終了後、自主上映を成功に導く方法について、九州共同映画社の井上裕治社長にお話を伺いました。

◆第2部(14:45~16:45) 参加者 15事業所34名(初めての参加者は6事業所8名でした)

◎講演「新たな気持ちでチャレンジスタート」学習療法センター 伊藤真治 副代表

大分学習療法研究会の新たな年度の始まりに際し、長年くもんの教育現場に携わった氏の経験談をもとに、親やリーダーに求められる、子や部下に接する上で必要とされる行動などを事例を交えての講演。

◎グループ討議

参加者の事業所における新たなチャレンジなど、講演会から得られたことや日頃の業務の悩み事など様々な内容についてディスカッションを通じて情報を交換しました。

◆総括 吹田副会長

◆第1部◆ 平成27年度定期総会

◎審議の結果承認された議案

- ①平成26年度活動報告及び決算報告
- ②平成27年度役員・運営委員の選任
- ③平成27年度活動計画及び予算



総会に参加された
会員事業所の皆様

(詳細はホームページの総会議事録をご覧ください)

◎平成27年度の役員

会 長: 首藤毅志(グランドホーム古国府 施設長)

副会長: 吹田カズエ(和光園 事務長)

理 事: 谷口弘美(いずみの園 特養部長)

河津一廣(ケアマンションひだか 施設長)

伊藤恭敬(鳩友園 副園長)

疋田正三(四季の郷デイサービス 所長)

高橋智秀(聖心園 施設長)

伊藤真治(学習療法センター 副代表)

相談役: 富永健司(いずみの園 理事長)

大塚恭弘(みずほ厚生センター 理事長)

和田敦子(和光園 施設長代理)

◆自主上映を成功させるために 九州共同映画社 井上裕治 社長

総会終了後、大分での自主上映会を成功に導くため、九州共同映画社の井上裕治社長が福岡からお出いただきました。同社が加盟するJSN(ジャパン・スローシネマ・ネットワーク)という組織は全国津々浦々で良い映画を地域のネットワークと共に上映していこうというものです。上映することはもちろんですが、上映日までの実行委員のネットワーク作りを重要視しています。

今後県内で予定している、大分市、中津・宇佐市での開催を前に、実行委員としての役目や地域への声掛けの必要性など、上映会を成功に導くための貴重なお話を伺いました。

◆第2部◆ 講演 テーマ：「新たな気持ちでチャレンジスタート」

講師：伊藤眞治 氏 (株公文教育研究会 学習療法センター 副代表)



伊藤副代表をご紹介する首藤会長

講演の冒頭、自らの生い立ちから話を始められた伊藤副代表が、これまでの人生経験から得た様々な思いや確信したことをお話いただきました。

◎継続することが大事

自分は天才かもしれないと思いはじめた頃魚介類の図鑑に興味を示し、内容をすべて暗記してしまったことから、大学は海洋学を専攻。ハリセンボンという魚は、東南アジアから日本を目指し、行列をつくって北上してくる。九州に近づくころに、太平洋側と日本海側に群れが分かれていくが、日本海側に向かった魚は全滅してしまう。大学時代にこの謎を研究したら、日本海側に行く魚は泳ぎ続けることができない弱い群れで、元気に泳ぎ続けた群れが太平洋側に行き産卵して子孫を増やすことができる。

継続することが大事であることを自然界から学んだエピソードでした。



ホワイトボードを利用し熱く語る伊藤副代表



ようになります。「待てよ？もしかして！」と上を見上げるようになると自分から学ぶ姿勢ができてきた証拠です。その時の子供の顔がくもんのマークになっています。

自分からできるようになるための3つの条件は、①ちょうどあっている ②自分で始める ③誰かが見守ってくれる そして、親がとるべき行動は、①認める ②褒める ③待つ ④焦らない 以上のことは、職場で部下を育てていく立場のリーダーにも言えることです。



◎「自分から」できるようになるには

「勉強しなさい！」と言われながら育った子供で勉強ができるようになった子供を見たことはありません。

自分から進んで学ぶようになった子はどんどん出来る

◎介護に携わる職員さんは「天使」です！

特に学習療法に携わっている皆さんは、ご家族の方にとってみれば、親のことを観察して、目標を立て、笑顔で話しかけて、記録して、カンファレンスして、連絡してくれて・・・そんなことしてくれる職業は、この世に無いんです！だから「天使」なんです！

◎課題や困難に出会ったら

それをチャンスと思って生まれ変わって下さい。生まれ変わろうとする努力が大事です。課題に出会う度に何回でも生まれ変わらしましょう！

(以上 講演の概要でした)

◆第2部◆ グループ討議

4つのグループに分かれ、新たなチャレンジや講演、その他それぞれの事業所で抱えている課題などについてのディスカッションを行いました。

今回参加者の中には、大分シンポジウムに参加して研究会の存在を知った方や会員事業所の方からのお誘いで来られた方が、6事業所8名も参加していただきました。

理事のグループでは、第1部の総会で決まった平成27年度の活動計画について、さらに詳細な検討がされ、今後



始めて参加された方をご紹介

～皆さんのアンケートから～

- ◎伊藤副代表のお話が心強く思いました。生まれ変わる気になりました！
- ◎伊藤副代表のお話の中で、「自分から」することが、続けるために大切ということを知り、学習療法でもリハビリをすることにもつながることだと思いました。
- ◎伊藤副代表に「皆さんは介護の天使です！」と言われただけでうれしいです。研究会に来ると元気になり、前向きになります。いつも笑顔になりリフレッシュさせてくれます。若い職員にも参加させていきたいです。
- ◎未導入の事業所の方々からの質問に、改めて学習療法の基本・良さを再認識した。また伊藤副代表の「尊敬と尊厳をもって！」を心に深く刻んで、今後がんばります！
- ◎伊藤副代表の講演で、またモチベーションが上がりました！
- ◎講演の中で、「天使の仕事」という言葉を聞き、また新たな気持ちで日々の業務を頑張ろうと思いました。また、続けることが大事ということも印象に残りました。
- ◎「認める」「待つ」「褒める」「焦らない」この言葉をいつも心に留めておきたいです。
- ◎学習療法は難易度に重点を置くのではなく、継続していくことに意味があると理解することができました。うちの事業所でも導入していけたらと思っています。



グループ討議に参加された皆さん

の研究会の場所や大分市と中津市で計画されている「僕がジョンと呼ばれるまで」の自主上映会の成功策について話し合われていました。

導入事業所の育成士や導入を希望されて、今回初めて参加された方々のグループでは、自己紹介から始まりました。

今回初めて参加された方々は、以前から学習療法に興味を持っており、どんなものなのか詳しく知りたいという方や、導入はしているが研究会への参加は初めてという方々でした。



《学習療法研究会へのお誘い》

「大分学習療法研究会」は、学習療法を導入・実践されている施設の皆さまが集まり、学びあう交流の場です。

県内の導入事業所で開催していきますので、まだ参加されたことのない施設の皆さま、これから導入をお考え事業所様も是非ご参加ください。

今後の活動予定は・・・ <http://furugo.net/oita-lts.html>

◆次回の予告◆

次回、第11回大分学習療法研究会は、平成27年7月25日(土)

日田市の鳩友園で開催します。

詳細が決まり次第ホームページに掲載します。

◆お知らせ◆

映画「僕がジョンと呼ばれるまで」

今後の自主上映会

期日：①平成27年10月24日(土)

大分市コンパルホール 文化ホール

②平成27年12月5日(土)

中津市又は宇佐市で開催予定